

写真



＼大森子ども教室ボランティア参加④！！！！／

8月4日（水）

大森子ども教室ボランティア参加4日目です。

今日は高校生7名が、朝から子どもたちと活動しました。

最初は、大森小学校体育館でフットサル教室です。

小学生は、ところ狭しと駆け回りますが、高校生は今一つ動きが鈍いようです。それでも、楽しく充実した活動ができました。

次に、銀山口自治会館へ移動して、勉強の時間です。

高校生が、大田市教育委員会がふるさと教育教材として作成した電子書籍「大田～お話しつむぎ（大森町編）」の読み聞かせを行いました。

この電子書籍作成にあたって、大森小学校の児童が挿絵を書いています。自分が書いた挿絵を見つけると、歓声を上げながら聞いてくれました。

勉強の時間が終わったところで、「鄙^{ひな}や」に移動しました。

「鄙^{ひな}や」は、群言堂本社敷地内に移築された古民家です。

美味しい昼食をいただいた後、以降の活動は鄙^{ひな}やで行いました。

午後は、紙芝居づくりからスタートです。午前中読み聞かせに使った本の中から、「どぶの主」というお話を紙芝居にします。約2時間かけて絵を描き、段ボールを利用して紙芝居の台を作りました。

最初はどうなる事かと思いましたが、分担を決め、それぞれが集中して作業し、思いのほか立派に出来上がりました。

おやつの時間の後、高校生が、出来た紙芝居を実演しましたが、自分たちで作上げた紙芝居は、読み聞かせとは違ったものを感じられました。

今回は、1日かけた活動で、高校生も最後は疲れ切っていましたが、小学生との交流は、良い経験になったように思います。

邇摩高校の生徒たちに、今回のような交流の機会を与えたいと考えています。高校生に参加してほしいと考えておられるイベントなどがありましたら、ぜひお知らせください。可能な限り参加できるように調整いたします。

大田市教育魅力化コーディネーター（邇摩高校） 森本

邇摩高 HP はコチラ ⇒ <https://www.nima.ed.jp/>